

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2010-100533(P2010-100533A)

【公開日】平成22年5月6日(2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2008-270770(P2008-270770)

【国際特許分類】

A 0 1 N 59/12 (2006.01)

A 6 1 L 2/08 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

A 6 1 K 33/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 P 31/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 43/36 (2006.01)

A 0 1 N 61/00 (2006.01)

【 F I 】

A 0 1 N 59/12

A 6 1 L 2/08

A 0 1 N 25/02

A 6 1 K 33/18

A 6 1 K 47/32

A 6 1 P 31/02

A 6 1 K 47/02

A 6 1 P 17/02

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 43/36 C

A 0 1 N 61/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月12日(2011.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポピドンヨード及びヨウ化カリウムを含有してなる消毒液に放射線を照射して滅菌する滅菌方法。

【請求項 2】

前記消毒液には 20 g / L 以下のヨウ化カリウムが含有されることを特徴とする請求項 1 に記載の滅菌方法。

【請求項 3】

前記消毒液に含まれるポピドンヨードの濃度は 10 % より高いことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の滅菌方法。

【請求項 4】

前記消毒液は容器内に密封された後に放射線を照射されることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の滅菌方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の滅菌方法により滅菌されてなる消毒液収容キット。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の滅菌方法により滅菌されてなる消毒液。

【請求項 7】

ポピドンヨード液を放射線照射により滅菌する前に、予めヨウ化カリウムを添加することを特徴とする、ポピドンヨード液の有効ヨウ素量の低減抑制方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の有効ヨウ素量の低減抑制方法により、放射線照射による有効ヨウ素量の低減が抑制されたポピドンヨード液。